

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	日々のケア・コミュニケーションの中からの言葉や感じ取れる情報はたくさんあるが、その情報からケアへと十分活かしかれていない。	職員がより感性を磨くことにより、表面的でなく深い部分での思いをくみ取り、よりよいケアにつなげていけるようにする。	日々のケアの中・会話の中から、ご利用者・ご家族のありのままの声・思いを記録に残しておく。発せられた言葉より、職員一人一人が、感じる思い等話し合う機会を持ち、お互いの感性を磨いていけるよう努力していく。	12ヶ月
2	26	介護計画策定の中で、利用者の身体的・精神的状態等様々の変化からくる生活上の問題点について、十分な原因分析ができていない。	ご利用者の身体的・精神的状態の変化からくる生活上の問題点から、いろんな方面への要因分析をして、より適切なケアプランにつなげていけるようにしていく。	介護計画策定の過程において、分析手法を用い原因分析を深めていき、より効果的なケアプランにつなげていく。	12ヶ月
3	26	自分達が日々行っているサービスの質について客観的に、ご利用者・ご家族の立場から十分な分析ができておらず、質の向上につなげていけない。	サービスの質についても、ご利用者・ご家族の立場から分析を行い、質の向上が図れるようにしていく。	ご利用者・ご家族のありのままの声・思いから、自分達のサービスの質について、分析を行い、ふり返り検討しながら質の向上に努めていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。